

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

北多摩南部の状況

<H27報告とH26報告の比較>

- ・平成27年度報告は、急性期機能を選択した病床数は対前年比約450床減で、高度急性期・回復期機能が少し増加
- ・東京都全域で見ると、高度急性期機能はH26年31,000床強がH27年では約23,500床で、約7,500床減

<H27報告の特徴>

- ・7対1入院基本料を届け出た病床の6割が高度急性期機能、4割が急性期機能を選択
- ・慢性期機能の平均在院日数は都平均並みで、病床稼働率は都平均より低い。

<H27報告と将来推計>

- ・高度急性期を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は3,052床
- ・将来(2025年)の患者数は高度急性期相当(3,000点以上)で1,072人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は1,429床
- ・但し、左記のとおりそのまま比較できるものではなく、約1,600床減らさなければいけないという見方ではないことに留意

・そのままの比較は困難だが、将来推計において回復期機能が病床全体の30.3%を占めるのに対し、自己申告の値は10.2%とかなりのひらきがある。

・こうしたデータを参考にしながら、北多摩南部において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

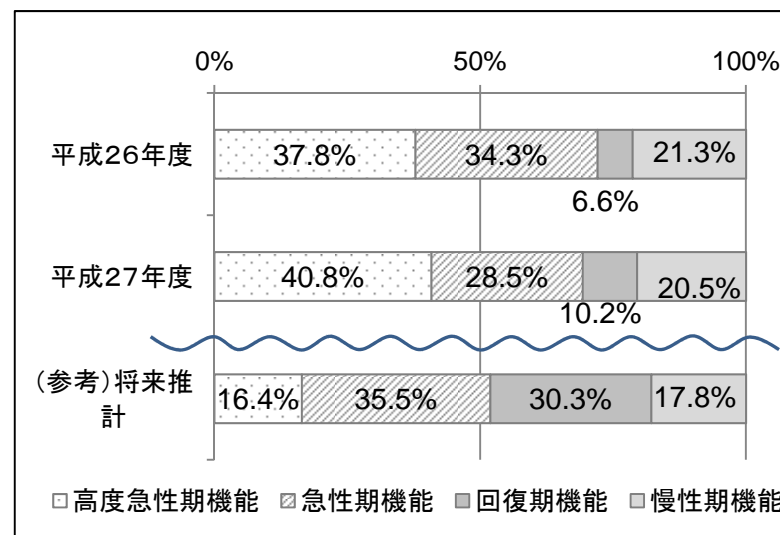
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度 報告結果	2,844床 37.8%	2,578床 34.3%	495床 6.6%	1,605床 21.3%	7,522床 100.0%
平成27年度 報告結果	3,052床 40.8%	2,128床 28.5%	765床 10.2%	1,533床 20.5%	7,478床 100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

(参考) 将来 推計	患者数	1,072人	2,408人	2,373人	1,427人	7,280人
	病床数	1,429床	3,087床	2,637床	1,551床	8,704床
		16.4%	35.5%	30.3%	17.8%	100.0%
2013年 推計足元	病床数	1,295.1床	2,488.9床	2,001.1床	1,656.9床	7,442.0床

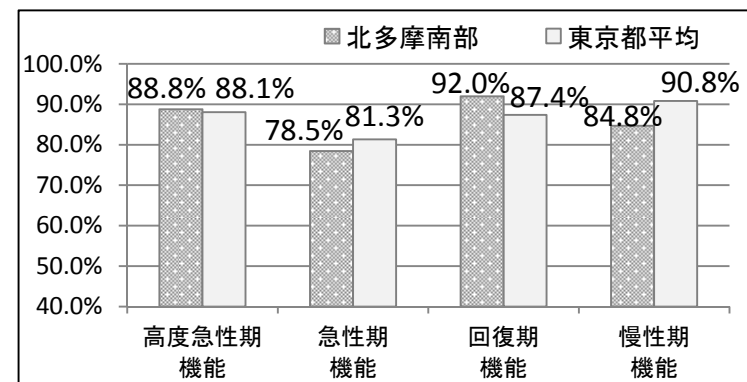


<データ2> 4機能と入院基本料

(床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1	一般病棟7対1入院基本料 1,485	一般病棟7対1入院基本料 912	回復期リハビリテーション病棟入院料 496	療養病棟入院基本料 662
2	特定機能病院一般病棟入院基本料 825	一般病棟10対1入院基本料 875	障害者施設等入院基本料 160	障害者施設等入院基本料 376
3	小児入院医療管理料 327	小児入院医療管理料 93	一般病棟10対1入院基本料 90	介護療養病床 301
4	特定集中治療室管理料 103	一般病棟15対1入院基本料 89	有床診療所入院基本料 23	地域包括ケア病棟入院料/入院医療管理料 81
5	新生児治療回復室入院医療管理料 84	有床診療所入院基本料 59	有床診療所療養病床入院基本料 15	一般病棟15対1入院基本料 46

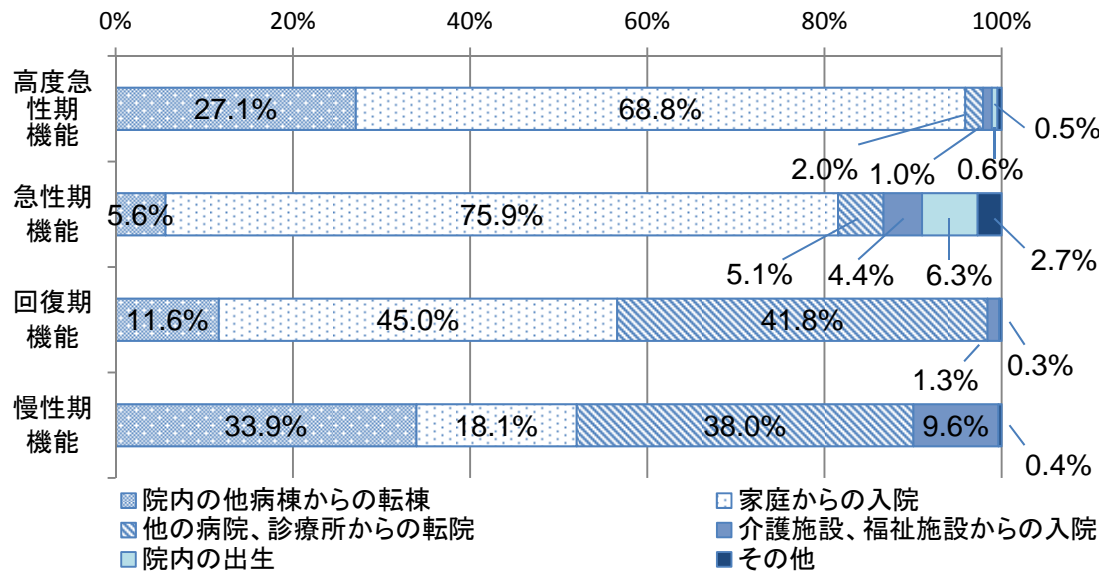
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



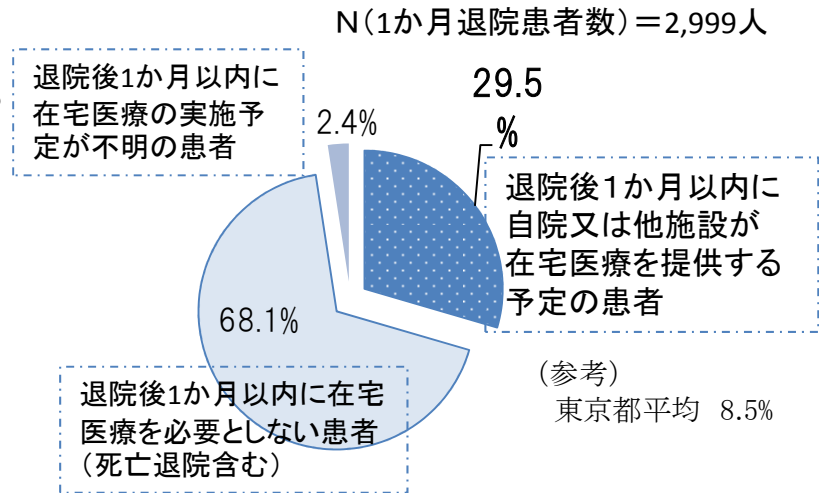
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

機能	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
平均在院日数	8.9日	12.4日	48.7日	149.6日

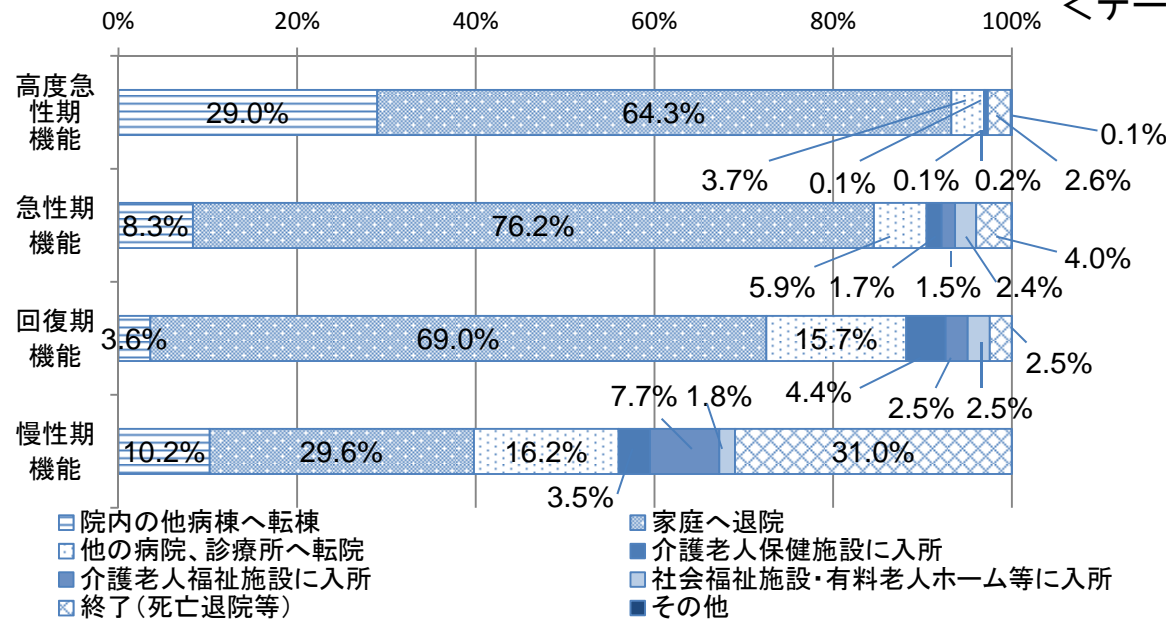
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所（病院）



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合（病院）



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所（病院）



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	5施設	29.4%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	9施設	52.9%
緊急時に対応する機能	4施設	23.5%
在宅医療の拠点としての機能	5施設	29.4%
終末期医療を担う機能	4施設	23.5%
いずれにも該当しない	5施設	29.4%

注 報告のあった17施設を集計。複数回答可。